



「自由で開かれたインド太平洋」 をめざして 訪印報告

皆様お元気ですか。本当に暑い夏でしたね。
今回は、40℃以上の日もあり、日本以上に暑い熱い
国、インドを訪問しましたので、ご報告いたします。

○劇的に変化するインド外交

7月初旬、日印協会の会長に就任された菅義偉前総
理に同行させていただき、仲間の国会議員や経団連
の皆様とインドを自費で訪問しました。経済界からは約
50社100名の経済人が同行しました。

インドの外交官出身で、現職の外務大臣でもある
S・ジャイシャンカル氏は著書『インド外交の流儀』で、
「智恵とは、変化する世界に、適応していくことである」と、
インドの詩人の言葉を引用して述べています。この言
葉通り、近年のインド外交は劇的に変化しています。

独立以来、非同盟外交を経て、欧米・日本と、中国・
ロシアなどとの間でバランスを図りながら外交を行って
きたインドは、故安倍元総理が提唱した「自由で開か
れたインド太平洋戦略」に共鳴し、クアッド(日米豪印安
保戦略対話)の参加を決めました。クアッドへの参加の
原因は、言うまでもなく中国の台頭と軍事的な威圧に
あります。中印両国は、ヒマラヤを境に4056kmという
長大な国境で接しており緊張関係にありましたが、20
20年5月のラダック地方での衝突を皮切りに、ここ3年
は極めて深刻な軍事衝突を繰り返しています。中国の
※1「一帯一路」戦略が南アジア諸国を取り込み始めて
おり、インドは中国に対し強い危機感を持っています。

しかし、この事態は、インドをアメリカに急接近させ、
中国は台湾及び南シナ海とは別に、ヒマラヤに二つ目
の戦線を抱えることになりました。この点を見ても、イン
ドが「中国中心のアジア」を誕生させない上で、いかに
重要な存在かがわかると思います。

※1「一帯一路」戦略

…中国が推進する巨大経済圏構想。習近平国家主席が2013年
に初めて打ち出した。アジアとヨーロッパを陸路と海上航路で
つなぐ物流ルートをつくって貿易を活性化させ、経済成長に
つなげようというもの。



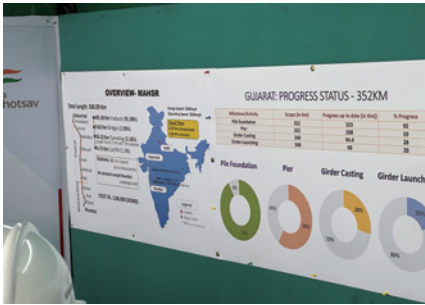
デリーの首相公邸にて

○高速鉄道事業

日本とインドの「旗艦プロジェクト」に日本の新幹線シス
テムを利用したインド高速鉄道事業があります。アーメダ
バードとムンバイ間約500kmへの工事区間の内、起点と
なるサバルマティ駅にて工事の進捗状況などを視察さ
せていただきました。インド高速鉄道が完成すれば、
アーメダバードからムンバイまで在来線で5時間かかっ
たところが、一気に2時間に短縮される予定です。

また今回は外資参入を欲するインド側の要望に応え
て、インフラやIT、金融といった日本企業のインド進出を
後押しする訪印となりました。日本側からも今後日印の
経済関係を深化させる上で、インドの複雑な税務や物
流インフラの整備・改善を求めました。特に、日本企業
がインドに進出する上で、賃金や調達費の上昇、通関
手続きの煩雑さ、税務負担、土地収用が進まないことに
伴うインフラ整備の遅れなどを日本側から指摘させてい
ただきました。

今回参加の日本企業関係者と話しましたが、今や14
億人と人口世界一、平均年齢が28歳と若く、GDPもイギ
リスを抜いて世界5位、自動車販売台数は日本を抜いて
世界3位となっているグローバルサウスの雄インドに対
し、中国に代わる有望国として、大いに期待を持っている
ことを実感しました。(2面に続く)



高速鉄道建設予定の案内表示



鉄道高架工事現場の様子



サバルマティ駅にて視察



インドの鉄道線路



町の風景



カレー

○変化する国際環境の中で

ナレンドラ・モディ首相ともお会いしました。貧しいチャイ(紅茶)売りから身を起し、地方政治家を経て、インドの首相となり、さまざまな改革に邁進する優れたリーダーシップと穏やかな話しぶりには、大国インドの指導者としての風格を感じました。

もともと2021年に、バイデン大統領の呼びかけで、コロナによりオンラインでの開催となりましたが、日米豪印4カ国の首脳会談が持たれました。その時の日本の首脳が菅義偉前総理でした。この首脳会談で「日米豪印の精神」という共同声明を出し、4カ国はこの時「自由で開かれ、包摂的で健全であり、民主的価値観に支えられ、威圧によって制約されることのない」インド太平洋地域をめざす、と合意し、今のクアッド設立につながったといえます。

そういう意味で、菅前総理とモディ首相は、旧知の間柄というだけでなく、インド太平洋戦略の同志であり、このたびの訪印成功も、この二人の偉大な政治家の力強い人間関係によるものと言えます。

しかし冒頭のジャイシャンカル外相は同じ著書の中で、中国の台頭と米国の国力が減退した、多国間協調主義が崩壊しつつある今の世界で、国際政治とはフレン

ド(友人)とエネミー(敵)が、混ざり合った「フレネミー(友人であり敵でもある国)」が増えてくる、と現実政治を喝破しています。そして、このように国際環境が変化する中では「一貫性にこだわらず、教条主義的な考えを捨てよ」と説いています。

日本や米国、そしてインド太平洋戦略が、インドの国益にならないとなれば、インドのそのすぐれた現実主義的な外交戦略は、再び方針転換されることになるでしょう。日米は、真に「組むに足る国か」と、インドから常に試されていると思います。

だからこそ日本は、「平和憲法があれば、戦争にならない」という政治的ロマンチズムに浸ることなく、いまそこにある危機を自覚し、防衛力を強化し、日米同盟をより確たるものにする必要があります。

安倍元総理が提唱し、菅前総理が形にした、日本発の世界戦略「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」。

私も、微力ではありますが、その政治的遺産の一端を受け継ぎ、我が国の発展の為に尽くしていきたいと覚悟を新にしました。

衆議院議員 古川直季

古川なおきプロフィール

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市会議員26歳最年少当選
- ・自民党横浜市会議員団団長、政務調査会長、総務会長を歴任
- ・2021年衆議院議員総選挙神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)より92,405票で小選挙区当選
- ・自民党では無派閥(菅グループ)で活動
- ・＜常任委員会＞総務委員会 / 文部科学委員会
- ・＜特別委員会＞政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会
- ・自民党2027横浜国際園芸博覧会(花博)推進特命委員会 事務局長
- ・保土ヶ谷区スポーツ協会 顧問
- ・旭区サッカー協会 顧問
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- ・2018年横浜マラソン完走(5時間8分)

自民党元幹事長
石破茂先生
来る!



古川なおき
ホームページ

自民党 神奈川6区 時局講演会のお知らせ

☆日時：2023年10月2日(月) 18:30

(受付17:45～)

☆会場：保土ヶ谷公会堂

☆講師：自民党元幹事長 石破 茂 先生

☆主催：自民党神奈川6区 支部長 古川なおき

☆参加無料(事前予約制)

※混雑が予想されるため、QRコード、メール、お電話にて必ず事前にお申し込み下さい。



自民党神奈川6区(古川なおき事務所)〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL:045-391-4000 FAX:045-366-9700 E-mail: jm@furukawa2002.com